

令和5年度

決算報告

問 財政課 ☎ 内線216・219

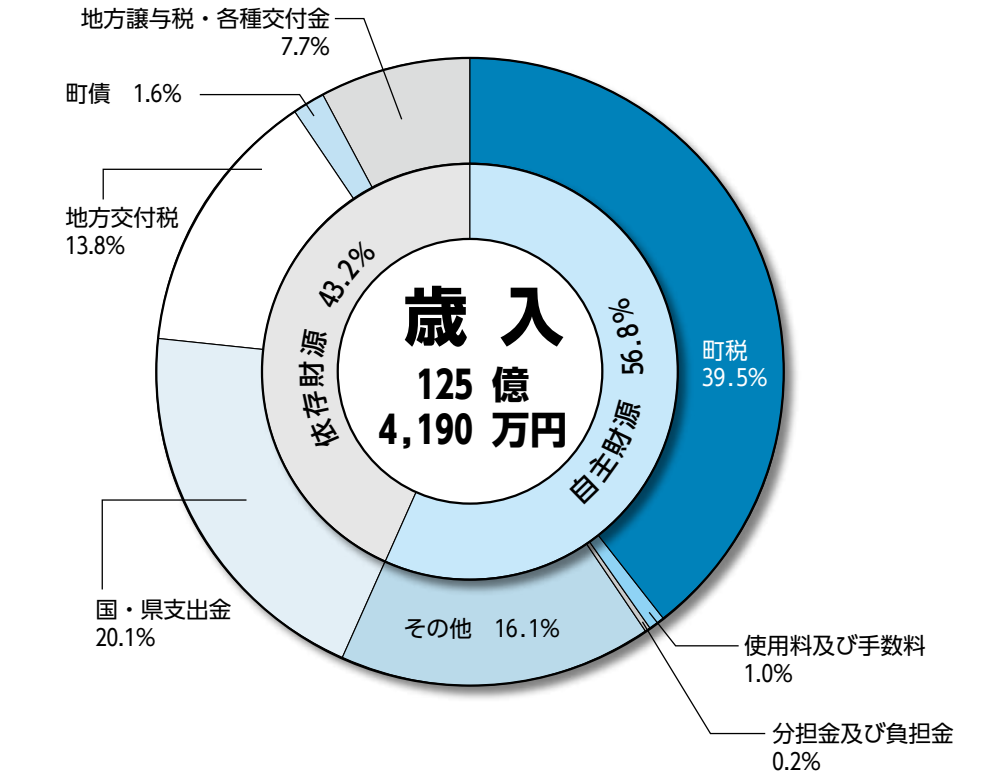
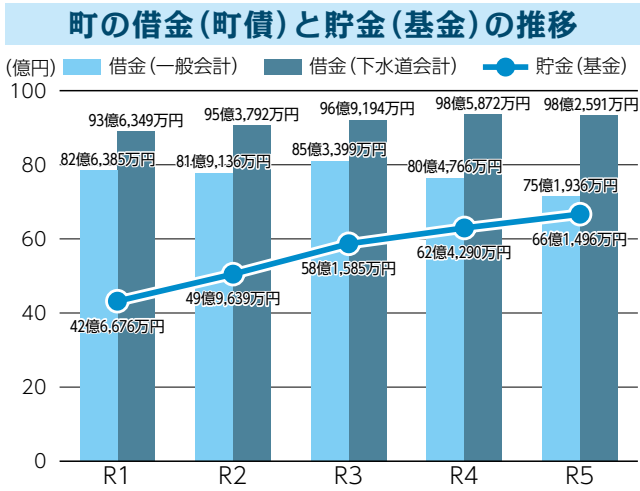
【決算概要】

●一般会計歳入
令和5年度の歳入決算額は、125億4,190万円で、前年度と比べ1億4,934万円の増加となりました。
景気回復に伴う個人所得の増による町民税の増加によって、町の収入の根幹となる町税が増加したことや、国税収入の増加などによる普通交付税の増に伴う地方交付税の増加などが主要因として挙げられます。

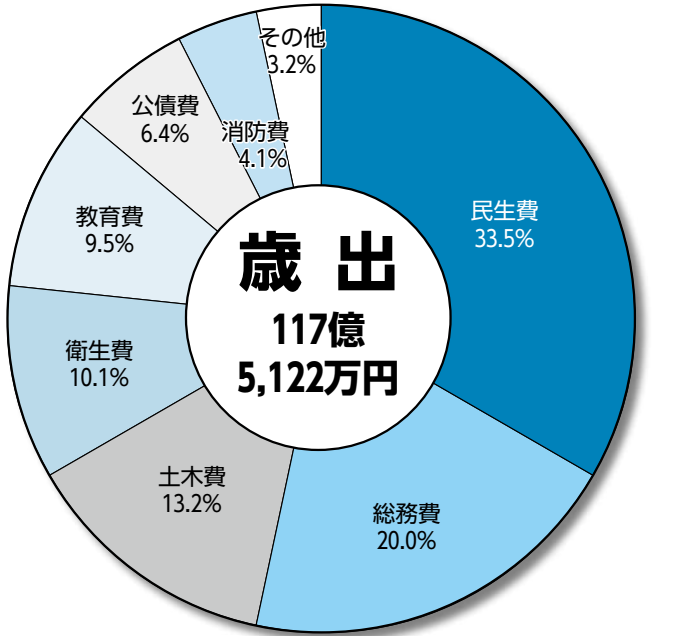
●一般会計歳出
令和5年度の歳出決算額は、117億5,122万円で、前年度と比べ1億4,954万円の増加となりました。
増加の主要因として、物価高騰等に対応した低所得世帯支援給付金の増加などによる扶助費の増、同じく物価高騰等に対応した小学校給食費無償化補助金の増加などによる補助費等の増が挙げられます。

●一般会計収支の状況等
歳入と歳出の差引残高から、翌年度へ繰り越すべき財源6,332万円を除いた令和5年度の実質的な収支は、7億2,736万円の黒字となりました。また、借金(町債)の現在高は75億1,936万円となり、令和4年度末残高と比較して約5億円減少させる結果となっています。

●財政指標等
町の健全化判断比率等の各指標の令和5年度の値は、いずれも国が定める基準を下回っており、財政の健全性を示しています。今後も引き続き安定した財政運営を行ってまいります。



【歳入】	
【自主財源】	
町税	49億5,220万円
使用料及び手数料	1億2,594万円
分担金及び負担金	3,068万円
その他	20億1,118万円
諸収入、繰入金、繰越金など	
【依存財源】	
国・県支出金	25億1,616万円
地方交付税	17億4,232万円
町債	1億9,920万円
地方譲与税・各種交付金	9億6,422万円



【歳出】			
民生費	39億3,228万円	公債費	7億4,626万円
保育園や障がい者、高齢者の福祉など		借りたお金の返済	
総務費	23億5,446万円	消防費	4億8,727万円
住民登録や交通安全、防犯、防災対策など		消防活動や災害対策など	
土木費	15億5,496万円	その他	3億7,144万円
道路や河川、公園の整備など		議会費 1億3,496万円 労働費 1,089万円 農林水産業費 1億4万円 商工費 1億1,855万円 その他(災害復旧費など) 700万円	
衛生費	11億9,042万円	教育費	11億1,413万円
予防接種やごみ処理など		学校や生涯学習など	

特別会計・企業会計

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳出決算額前年度比較
国民健康保険事業	32億5,472万円	32億2,375万円	↓
後期高齢者医療	11億4,165万円	11億2,280万円	↑
介護保険事業	32億2,008万円	31億3,967万円	↑

※特別会計とは…特定の収入を財源として行われるもので、一般会計とは区分して経理する会計

企業会計名	収入決算額	支出決算額	支出決算額前年度比較	
下水道事業	収益的	9億1,795万円	8億7,297万円	↓
	資本的	9億9,138万円	13億545万円	↓

※企業会計とは…事業ごとに収益をあげて行われるもので、一般会計から独立して経理する会計

※資本的収支の不足分は、留保資金などで補てんしています。

健全化判断比率・資金不足比率				
財政健全化指標		大磯町	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率①	※赤字額ではないため、数字は表示されません。	13.88%	20%
	連結実質赤字比率②	※赤字額ではないため、数字は表示されません。	18.88%	30%
	実質公債費比率③	4.8%	25%	35%
	将来負担比率④	5.7%	350%	
資金不足比率⑤		※不足額が発生しないため、数字は表示されません。	20%	

各比率の説明
①実質赤字比率：一般会計の赤字の大きさを示す。
②連結実質赤字比率：町の全ての会計の赤字の大きさを示す。
③実質公債費比率：借入金の当該年度の返済額の大きさ(資金繰りの程度)を示す。
④将来負担比率：今後支払わなければならないものの大きさを示す。
⑤資金不足比率：各公営企業(町では下水道事業)の事業規模に対する資金の不足額を示す。